

4 ('81 名古屋大)

【難易度】…標準

n を 3 以上の自然数とし, 関数 $f(x) = \left| \frac{x(x-n)}{x^2+1} \right|$ の $x \geq 0$ における最大値を a_n とする. $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{a_n}{n}$ を求めよ.

【テーマ】: 最大値・最小値

方針

絶対値の中の関数を $g(x)$ とおいて, $y = g(x)$ のグラフを考えます. 最大値を与える x の値は複雑な式になるので文字で代用しましょう.

解答

$$g(x) = \frac{x(x-n)}{x^2+1} \text{ とおくと,}$$

$$\begin{aligned} g'(x) &= \frac{(2x-n)(x^2+1) - x(x-n) \cdot 2x}{(x^2+1)^2} \\ &= \frac{nx^2 + 2x - n}{(x^2+1)^2} \end{aligned}$$

である. よって, $g'(x) = 0$ のとき, $nx^2 + 2x - n = 0$ であるから,

$$x = \frac{-1 \pm \sqrt{1+n^2}}{n}$$

である. ここで, $\alpha_n = \frac{-1 - \sqrt{1+n^2}}{n}$, $\beta_n = \frac{-1 + \sqrt{1+n^2}}{n}$ とおくと, $x \geq 0$ での増減表は次のようになる.

x	0	…	β_n	…	$(+\infty)$
$g'(x)$		-	0	+	
$g(x)$	0	↘		↗	(1)

$$\lim_{x \rightarrow \infty} g(x) = 1, \quad g(\beta_n) = \frac{\beta_n^2 - n\beta_n}{\beta_n^2 + 1} < 0$$

よって, $g(\beta_n)$ と -1 との大小関係を比較する.

$$-1 - \frac{\beta_n^2 - n\beta_n}{\beta_n^2 + 1} = \frac{-2\beta_n^2 + n\beta_n - 1}{\beta_n^2 + 1}$$

$0 < \beta_n < 1$ より, $y = -2x^2 + nx - 1$ ($0 < x < 1$) とおくと, グラフは x 軸と 2 点で交わり,

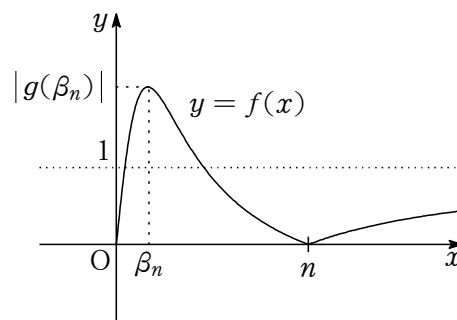
$$x = 1 \text{ のとき, } y = n - 3 \geq 0$$

であるから,

$$-1 \geq \frac{\beta_n^2 - n\beta_n}{\beta_n^2 + 1}$$

したがって, $y = f(x)$ は $x = \beta_n$ で最大値 $|g(\beta_n)|$ をとる. ゆえに,

$$\begin{aligned} a_n &= \frac{n\beta_n - \beta_n^2}{\beta_n^2 + 1} = \frac{n \cdot \frac{-1 + \sqrt{1+n^2}}{n} - \frac{2 + n^2 - 2\sqrt{1+n^2}}{n^2}}{\frac{2 + n^2 - 2\sqrt{1+n^2}}{n^2} + 1} \\ &= \frac{-2 - 2n^2 + (n^2 + 2)\sqrt{1+n^2}}{2 + 2n^2 - 2\sqrt{1+n^2}} \end{aligned}$$



$$\begin{aligned}
\therefore \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{a_n}{n} &= \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{-2 - 2n^2 + (n^2 + 2)\sqrt{1 + n^2}}{2n + 2n^3 - 2n\sqrt{1 + n^2}} \\
&= \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{-\frac{2}{n^3} - \frac{2}{n} + \left(1 + \frac{1}{n^2}\right)\sqrt{\frac{1}{n^2} + 1}}{\frac{2}{n^2} + 2 - \frac{2}{n}\sqrt{\frac{1}{n^2} + 1}} \\
&= \frac{1}{2} \dots \dots (\text{答})
\end{aligned}$$

**解説**

絶対値を含む関数のグラフをかくためには、絶対値をはずす必要がありますが、本問のように、 $y = |f(x)|$ の形をしている関数は、 $y = f(x)$ のグラフをかいて x 軸よりも下にある部分を x 軸に関して対称移動すればよいので、場合分けの必要はありません。本問では最大値を求めますが、 $x \rightarrow \infty$ のとき、 $g(x) \rightarrow 1$ なので、 $|g(\beta_n)|$ と 1 の大小関係を調べなければいけません。解答では、 $g(\beta_n) < 0$ なので、 $g(\beta_n)$ と -1 の大小関係を調べています。ここが一番面倒な部分かもしれませんが、その議論をせずに勝手に $|g(\beta_n)|$ が最大値と決め付けると大幅な減点は避けられないでしょう。